



今月の記事

理事長より

ユニット自慢

クリスマスのご報告

災害復旧感謝

今月の愛の園



理事長
宮崎靖子

新しい年を迎えて

明けましておめでとうございます。

愛の園の新年祝賀会で、入居者の方達と顔と顔を合わせお祝いの詞を交わした時、「あゝ、これが本当のおめでとうだな」と心がほかほかしてきました。そして今年も心を添わせ、心を通わせて、入居者の方々の幸せの為の一年でありたいと心から思いました。

昨年は激甚災害と指定された、すべてがひっくり返ってしまう凄まじい災害に襲われ、大切なものが根こそぎ奪われてしまいました。復興への道のりは未だ未だでしょうが、心に致命的な傷を負いながら、人々の絆に支えられて復興へと一步一步向かっておられます。痛みと共にいつも心から離れません。

台風12号では愛の園も今迄にない被害を受けましたが、多くの方々の祈りと温かい援助によって破壊された処が復興されま

した。皆様のお力を頂きながら、愛の園はいかに愛され、守られているかと、その喜びと感謝がおさまりきれず溢れ出しました。そして心から神様を賛美致しました。

今年は「たつ年」。登り竜、登竜門という言葉があるように、龍は人の及ばない高貴で偉大な力を現しています。自由自在に空を飛び、水中を潜る龍の背中に、愛の園も私達一人ひとりも乗せてもらいませんか!! 乗車券は「感謝の心」、指定席券は「笑顔」です。きっと希望の風に乗って勢いある、元気な日々になるに違いありません。

この一年皆様のお幸せを心から願っております。



多くの幸せが訪れることを願って門松を飾りました

ユニット自慢！(2) 「4ユニット」

ユニットの職員は出勤した時にまず入居者の皆さんに挨拶をし、お一人お一人にしっかりと声かけを行うことから一日が始まるよう心掛けています。そして入居者の皆さん個々の望みに合わせたスタイルで日々の生活を過ごしていただいています。

お昼寝をする方、テレビを見る方、熱心にパズルや将棋をする方など、それぞれにお好きな過ごし方があります。加えて4ユニットでは、調理室から提供されるオヤツだけでなく、皆さんに好んで食べていただけるゼリーや羊羹、スイートポテトなどをユニット

で手作りして召し上がっていただいています。また、買い物やドライブなどの外出を随時実施して、入居者の皆さんとユニット職員とが一緒になって一日一日を楽しく生活できるように工夫しています。

こうした生活を通してコミュニケーションの機会が増し、入居者お一人お一人の表情や言動によって気分や体調の変化をすぐに感じ取ることができます。その上で看護師や相談員、介護主任とも連携をとり、それぞれの役割を分担しながら、より良いケアに繋がるように努めています。そうすることで入居者の皆さんが笑顔になり、声を出して笑い、穏やかで充実した生活を送れるように支援を続けていきます。

ご家族の皆様にとって、「もっとこうしてほしい」と希望されることがたくさんあるかと思えます。ご意見、ご要望は職員みんなで受け止めていきますので、ご遠慮なくお伝えください。



重谷有沙

新家美由紀

羽山成美

菅根克幸

川口恵梨



クリスマスを楽しく、厳かに

実行委員/ケアワーカー
菅根克幸



出演者全員での記念撮影です
初めての大役、お疲れさまでした

今までクリスマス行事といえば勤務中の参加でしたが、今回実行委員に選ばれ「選ばれたからには自分自身も楽しくなるようにしよう」と思いました。まず私達職員が楽しそうに一生懸命に取り組まないと、入居者の方々も「クリスマスなんてこの程度だったのか」と思ってしまいます。年に一度、そしてキリスト教を基盤にしている愛の園だからこそ特別なことが出来ないかと思ったからです。

そう思いながら迎えた24日のキャンドルサービスは礼拝に参列して聖書を朗読し、その後キャロリングで各階のユニットを訪れました。私は2階の各ユニットへ行ったのですが、家族の皆さんや地域の方々がユニットの飾りつけを見て「すごいね」、「素敵だね」と話されており、何より皆さんが笑顔で参加して下さったことが印象に残りました。

入居者の皆さんも一緒になって「きよしの夜」を歌ってくれたり、私達が歌い終わった後に拍手をしてくれたり、「いつもと違う雰囲気」を感じてくれたのではないのでしょうか。

25日はクリスマス礼拝と聖劇が行われました。その聖劇はというと、私自身が初出演だったのでとても緊張してドキドキしていました。すると入居者のお一人が衣装を着けた私に向かって、「兄さん、良い着物きたあるな」と笑顔でいつものように話しかけてくれました。どんな時でもありのままにいる入居者の方々を見て緊張がいつの間になくなり、多くの方が観に来られていましたが、練習通りに無事終えることができました。

最後に、クリスマスの集いに参加して下さったご家族、ボランティア、地域の方々に感謝いたします。ありがとうございました。



復旧工事を終えた崩落斜面

台風被害復旧のご報告とご支援のお礼

昨年9月の台風による大雨によって、岩田の旧愛の園・深和ホーム・隣接の神愛修女会の敷地で、およそ15m下の町道に向かって幅約30mにわたって地滑りが発生しました。これにより斜面上部にあった旧愛の園の大型排水処理設備が損壊し、落下の恐れがあることから解体撤去を行いました。崩落した斜面に敷設されていた給水管、排水管が損壊して各施設が断水となったため復旧工事を行い、同じく斜面上部にあった高圧ケーブル引込電柱の倒壊に備えて電力ケーブルの繋ぎ換え工事を実施しました。崩落斜面は上富田町にもご尽力いただいて整備し復旧工事を終えることができました。

工事の間は堆積した土砂と重機搬入のための傾斜路や土嚢の設置により、12月14

日まで3ヶ月以上にわたって直下の町道が全面通行止めとなってしまいました。近隣の皆様には多くのご不便とご迷惑をお掛けいたしましたことをお詫び申し上げます。

また、復旧工事費用のため愛の園後援会から100万円、日本聖公会京都教区より70万円の義援金を、他にも関係の事業者、個人の方々など多くの皆様からご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

愛の園は、地域で重大な災害があった際には福祉避難所として機能することが期待されています。今回の台風被害を教訓にして設備・体制の整備に努め、皆様のご芳志にお応えできるよう努力してまいります。改めて数々のご支援に対し心から感謝を申し上げご報告とさせていただきます。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
Web サイト アドレス:
<http://shinai.or.jp>

1～2月の愛の園

- 12(木) やまびこ会
- 15(日) 日曜礼拝 おめかしクラブ
- 17(火) ひまわり会
- 18(水) 手芸サークル
- 19(木) やまびこ会
- 20(金) 社協ボランティア来園
- 22(日) 日曜礼拝
- 24(火) マリア会
- 25(水) 歯科診療
- 26(木) やまびこ会
- 29(日) 日曜礼拝
- 31(火) マリア会
- 2(木) やまびこ会
- 5(日) 日曜礼拝
- 7(火) マリア会

編集者から

新年あけましておめでとうございます。

災害は時に私たちの想像を超えた試練を強いることがあります。

昨年3月の東日本大震災や9月の台風12号の豪雨により大きな被害があり、尊い多数の命が奪われました。ほんの少し先の未来を見ることができたら・・・などと頭をよぎることがあります。

一日も早い復旧・復興と、大切な人を亡くされた方の心の傷が少しでも癒されるように願っています。

ぜいたくなことは望みません。ただ「ありふれた平穏な日々が続きますように」(I)